

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		在宅療養連携推進				所管	健康部 健康課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	139	計画事業名	在宅療養連携推進			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度		
		[小 柱]					[事業開始] 平成 2 5 年度		
		[施 策]					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	在宅療養連携推進協議会設置要綱、「在宅医療を考える会」助成金交付要綱					
	事業対象	区民、医療関係者、介護事業者							
	事業目的	在宅で療養することになる区民がその人らしく、充実した人生を過ごせるよう、在宅医療に関する相談・調整を行い、医療関係者・介護事業者等が連携し、一体となって在宅療養患者を支援する。							
	事業内容	(1)在宅療養連携推進事業の推進に向けた検討や課題解決を図るため会議体及び部会の設置、開催 (2)在宅療養支援窓口の設置、運営 (3)公益社団法人浅草医師会主催の「在宅医療を考える会」の事業経費の一部助成 ○助成件数:1件 ○助成金額:255,000円							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開催回数(在宅療養連携推進協議会・部会) (回)		3	-	-	3		
		開催回数(在宅医療を考える会) (回)		1	-	-	1		
	成果指標	参加者数(在宅医療を考える会) (人)		300	-	-	286		
	決算額 (単位:千円)				-	-	584		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			-	-	5,965		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			-	-	20		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			-	-	565		
		総経費			-	-	6,550		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			-	-	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			-	-	162				
一般財源 (区負担額)			-	-	6,388				
前年度から改善した事項									
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	高齢化に伴う医療需要の増加、病院における在院日数の短縮など、医療を取り巻く環境が変化する中で、医療を提供する場としての在宅医療の重要性が高まっており、その対応に向けた関係機関の連携強化が必要である。						
	効率性	3	医療・介護・福祉の実務関係者による在宅療養連携推進協議会を設置し、現場に即した効率的な運営を図っている。						
	手段の適切性	3	在宅療養連携推進協議会及び専門部会は、区内で在宅療養に関わっている医療・介護・福祉等の多職種の関係者を構成員とすることで、より実践的な協議を図っている。						
	目的達成度	3	平成25年度に在宅療養連携推進協議会を設置し、在宅療養支援に向けた関係機関の連携推進について協議を開始した。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
高齢化が進む中で、今後、病院ではなく自宅などの住み慣れた場所での療養生活に対するニーズは高まっていくと想定される。こうしたニーズに対応するため、在宅療養連携推進協議会での協議や支援窓口の設置を通して、本区の在宅療養の提供体制を充実を図り、在宅療養を支援していくことが必要である。							拡大		